

# 1 「量の見込み」の概要

「市町村子ども・子育て支援事業計画」では、教育・保育提供区域ごとに、計画期間の「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み」を推計し、具体的な目標設定を行うことが求められています。

量の見込みについては、子ども・子育て支援アンケート(以下、アンケート調査)の結果を用いて国の手引書(計算書等)で推計することを基本として、過大な見込み量(供給過剰)とならないように、現在の利用状況と比較検討を行っています。

# 2 「量の見込み」の考え方

## (1) 国の手引書に基づく「量の見込み」の計算方法

- ① 設定区域ごとに計画期間における対象の子どもの数を推計します。
- ② アンケート結果から、子どもの年齢ごとに家族類型割合に区分した児童数を算出します。この家族類型割合には、保護者の就労希望を加算しています。
- ③ 家族類型ごとの施設や事業の利用意向率を②に乗じて見込み人数を算出します。

**①人口推計 × ②年齢別・家庭類型別割合 × ③利用の意向割合 = 見込み量**

平成27年度に0歳児が必要とする認可保育所の保育人数

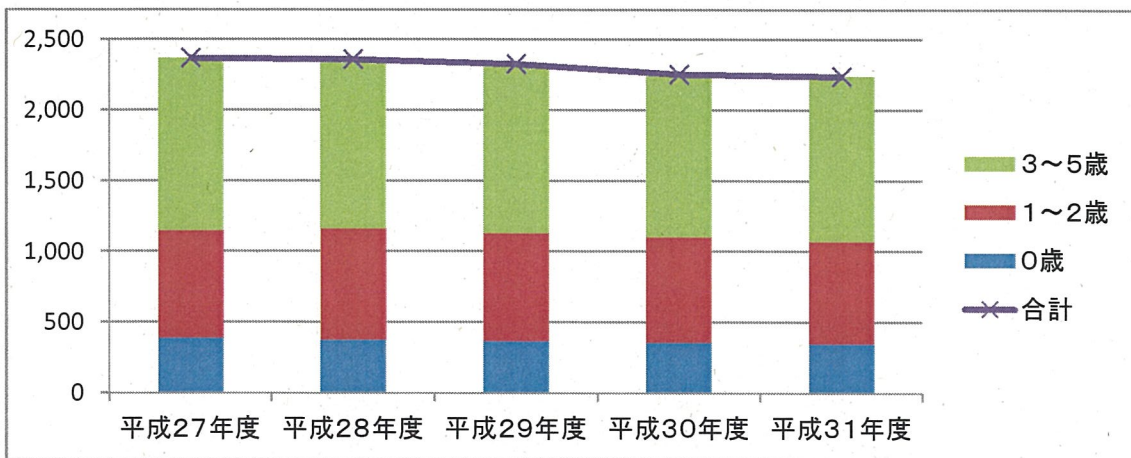
平成27年度0歳の子どもの数  404人	×	0歳児の共働き希望家庭の対象児童に対する割合  Aひとり親 6.8% Bフルタイム×フルタイム 50% Cフルタイム×パート 27.3%	×	0歳児の家庭類型ごとに認可保育所の利用を希望する割合  A 100% B 73.7% C 83.3%	×	年齢区分・家庭類型区分ごとに算出して合計する。  A 28人 B 149人 C 92人
----------------------------	---	--	---	--	---	---

※ 潜在的なニーズ(保護者の就労希望や利用希望)が平成31年度まで、変わらないという前提に立っています。

## (2) 人口推計

人口推計は、平成17年度から平成26年度までの0歳児人口を基に、第11次倉吉市総合計画で見込んだ人口減少率を乗じて算出します。

市域全体	各年度4月1日 (人)				
年齢	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
0歳	388	378	368	358	348
1～2歳	760	786	766	746	726
3～5歳	1,219	1,194	1,192	1,148	1,164
合計	2,367	2,358	2,326	2,252	2,238
前年比	▲ 9	▲ 9	▲ 9	▲ 9	▲ 9



(3) 家庭の就労形態による認定方法

フルタイム 週5日程度・1日8時間程度の就労  
 パート フルタイム以外のパート・アルバイト  
 無業 無業・専業主婦(夫)

3~5歳		母親の就労形態		
		フルタイム	パート	無業
父親の就労形態	フルタイム	2号		
	パート			
	無業			1号

0~2歳		母親の就労形態		
		フルタイム	パート	無業
父親の就労形態	フルタイム	3号		
	パート			
	無業			

3 量の見込みの算出

(1) 国の手引書に基づいて算出した「量の見込み」

(人)

				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
3歳~ 就学前	1号認定	幼稚園	幼稚園のみ	94	92	92	89	90
	2号認定		幼稚園希望	88	86	86	83	84
1・2歳	3号認定	保育所	保育の必要	891	873	872	839	851
0歳	3号認定			524	542	528	514	500
				258	251	244	238	231

(2) 実利用者数との比較

実際の利用の状況を踏まえて量を見込む必要から、国の手引書により算出した見込み人数(平成27年度見込み)と実際の受入児童数(実受入児童数)とを比較します。

H26.3.1在園児数  
(人)

【平成27年度見込み人数】

支給設定区分	1号 (3~5歳)	2号 (3~5歳)		3号 (0~2歳)	
		幼稚園の利用 意向が強い	その他	1・2歳	0歳
①H27 見込み人数	94	88	891	524	258
②H26実受 入児童数	幼稚園	0	—	—	—
	保育所	—	980	579	202
計	246	0	980	579	202
①-②	-152	88	-89	-55	56
(対前年比率①÷②)	38.2%	—	90.9%	90.5%	127.7%

★1著しく過  
小な見込み

★2過剰な見  
込み



(3) 見込み量の補正

★1 1号認定 3～5歳の幼稚園利用見込みが実受入児童数の1/2以下で、163人少ない。

(理由) ・幼稚園の平成26年度実受入児童数246人の中には、教育だけが必要な1号認定子どもと、教育・保育が必要な2号認定子どもが混在していると考えられるため、1号と2号に分けて比較します。

(補正) ・平成26年度実受入児童数を父母の就労形態により1号・2号(幼稚園の利用意向が強い)に振り分けます。

※幼稚園の父母の就労形態は照会実施(H26.7.1)

1号認定子ども246人	➡	1号	98人	39.8%
		2号	148人	60.2%

【補正後】

支給設定区分	1号 (3～5歳)	2号 (3～5歳)		3号 (0～2歳)	
		幼稚園の利用 意向が強い	その他	1・2歳	0歳
①H27 見込み人数	94	88	891	524	258
②H26実受 入児童数	幼稚園	98	148	—	—
	保育所	—	—	980	579
	計	98	148	980	579
①-②	-4	-60	-89	-55	56
(対前年比率①÷②)	95.9%	59.5%	90.9%	90.5%	127.7%

補正箇所

【補正後(1・2・3号別)】

支給設定区分	1号 (3～5歳)	2号 (3～5歳)		3号 (0～2歳)	
		幼稚園の利用 意向が強い	その他	1～2歳	0歳
①H27 見込み人数	94	979		782	
②H26実受 入児童数	幼稚園	98	148	—	—
	保育所	—	—	980	579
	計	98	1,128		781
①-②	-4	-149		1	
(対前年比率①÷②)	95.9%	86.8%		100.1%	

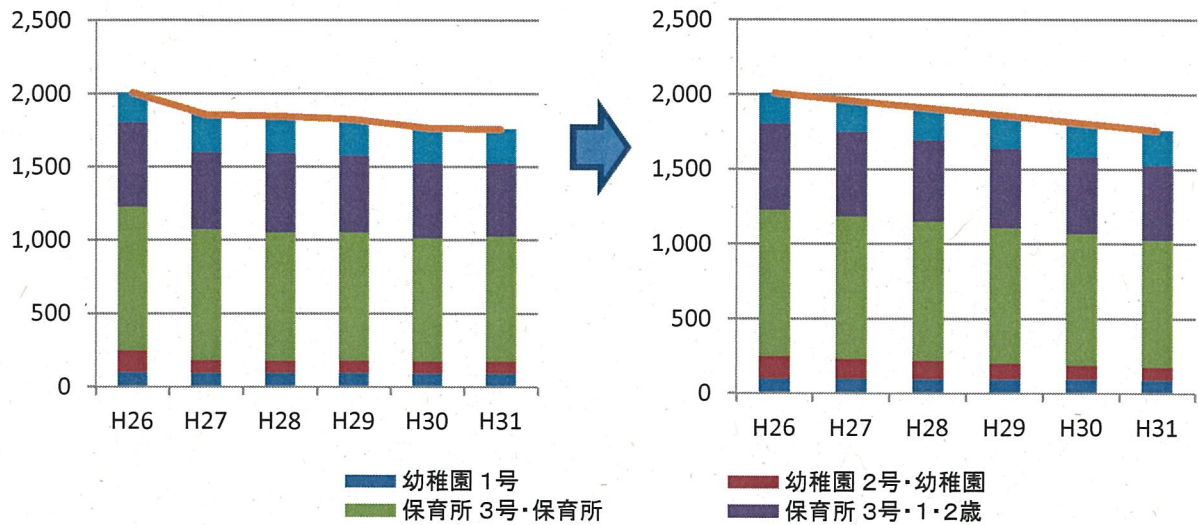
★2 共通

国の手引き書の算出方法による場合、平成27年度に潜在的な需要が全て顕在化することになります。実際には、社会情勢等により、徐々に顕在化してくると考えられるため、平成26年度の実績数値から、平成31年度の「量の見込み」に向けて、徐々に変化させていくよう補正を行います。

(人)

補正前			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
3歳～ 就学前	1号認定	幼稚園	98	94	92	92	89	90
	2号認定		148	88	86	86	83	84
1・2歳	3号認定	保育所	980	891	873	872	839	851
0歳	3号認定		579	524	542	528	514	500
合計			202	258	251	244	238	231
合計			2,007	1,855	1,844	1,822	1,763	1,756

補正後			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
3歳～ 就学前	1号認定	幼稚園	98	96	95	93	92	90
	2号認定		148	135	123	110	97	84
1・2歳	3号認定	保育所	980	954	929	903	877	851
0歳	3号認定		579	563	547	532	516	500
合計			202	207	213	219	225	231
合計			2,007	1,957	1,907	1,857	1,806	1,756



#### 4 確保方策

見込んだ量については、現在の教育・保育施設の定員数を下回っています。  
 今後、定員数を削減する方策を検討する必要があります。

1・2・3号認定	平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号
人口推計	1,225		1,192	1,148		1,219	1,164		1,194	1,134		1,192	1,104		1,148	1,074		1,164
①量の見込み	98	1,128	781	96	1,089	770	95	1,052	760	93	1,013	751	92	974	741	90	935	731
(需要率)	8.0%	92.1%	65.5%	8.4%	94.9%	63.2%	8.2%	90.4%	63.7%	8.2%	89.3%	63.0%	8.3%	88.2%	64.5%	8.4%	87.1%	62.8%
(年度計)	2,007			1,955			1,907			1,857			1,807			1,756		
②確保方策	2,204																	
認定子ども園	410																	
保育所	1,794																	